



第34回定期総会を開催

第34回定期総会が、2014年9月24日、15時から東京・連合会館で開催され、来賓、常任理事・評議員、支援組織代表者等、46名が出席しました。同総会では、会長挨拶の後、渡邊副会長が2013年度事業報告・会計報告を行い、確認されました。さらに、吉井会長が2014年度事業計画・予算案を、近藤常任理事が役員の一部改選案を提案し、満場一致で承認されました。(新役員体制は後記のとおり)

来賓として、連合より小川副事務局長、ラオス大使館よりソンポーン・ルアンタコン一等書記官が出席され、祝辞が述べられました。



総会風景

第34回定期総会挨拶

第34回定期総会に出席いただきました役員ならびに代議員の皆さん、大変ご苦勞様です。

日頃より、アジア連帯委員会(CSA)の活動にご理解と、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

また、来賓としてご臨席を賜りました、連合の小川副事務局長、在日ラオス大使館のソンポーン・ルアンタコン一等書記官におかれましては、大変お忙しい中にも拘わらず私共のために時間をおとりいただき、誠に有難うございました。日頃のご支援・ご協力と併せて、心からお礼を申し上げます。

後ほど、連帯と激励のご挨拶を賜りますよう、宜しく願いいたします。

昨年9月25日に開催しました、第33回定期総会で決定いただきました「2013年度事業計画」に基づいてこの1年間、評議員会と常任理事会で具体化の検討を行い活動を進めてきました。「救援衣類を送る運動」「ラオス初等教育改善としての・・・学校建設運動」「ラオス高等教育改善としての・・・高校寮支援」の3事業を柱として、皆さん方の協力の下で、着実に歩を進めることが出来たと考えています。詳細は、この後の「2013年度事業報告」に委ねますが、私からは次の5点について、今後の方針の一端も含めて述べさせていただきます。

第1点目は、「救援衣類を送る運動」を進めるにあたって生じた課題とその対応策についてです。その一つは、2012年度の「第29次救援衣類を送る運動」において、東京税関から「事業開始から30年を経過し、救援物資としての緊急性が薄れているので、中古衣類として輸出する場合の本来の規則に従って欲しい」との指摘を受けたこと、そして、指摘に従って規則に定める「中味が中古衣類とわかる」荷姿とした場合、私たちの取り組みに、手間と費用の両面で多大な影響が生じると判断し、通関業者を通じて税関当局に、連合を通じて税関関係労働組合に働きかけた結果、「CSAシール」貼付による内容物の証明、必要な場合の専門員による中味のチェック体制を整えることで等々、従来通り「ダンボール箱での梱包」で通関可能との判断が出来るに至ったことは、昨年の総会で報告した通りです。これを受けて初めてとなる、2013年度(昨年10月船積み)の「第30次救援衣類を送る運動」では、①中古衣類として送ることが出来る品目の徹底、②CSAシール貼付の徹底、③通関作業における専門員配置などを行った結果、無事に終了することが出来ました。今後も引き続き、この内容と体制を基本に取り組みたいと考えています。その二は、輸送費増大への対応についてです。円安による海外輸送費の上昇、通関作業へ専門員配置による新たな費用の発生等により救援衣類にかかる輸送費が増大し、CSAの財政に大きな影響を及ぼしています。そのため、従来から「救援衣類の提供と海外輸送費をセットとして」お願いしている事を改めてそれぞれの組織内で浸透を願

うべく、事前調査を行いその結果に基づいて11組織を訪問し、実状の説明と更なる協力を要請してきました。その際にご対応いただきました皆様にお礼を申し上げるとともに、改めて、この場をお借りして「衣類の提供と海外輸送費のセットでの取り組み」、言い換えれば「衣類の提供と輸送募金の一体的な取り組み」をお願いいたします。

第2点目は、24番目校となる小学校建設についてです。CSAの会員組織であります基幹労連は、昨年結成10周年を迎え、「結成10周年記念事業」の一環として、「ラオスへの小学校建設と寄贈」を決定し、CSAに委託していただきました。CSAとして24番目校となる本小学校は、ラオスのヴィエンチャン県フウェン郡ファサン村に建設され、本年5月21日に現地で基幹労連の代表団（兼子当時副中央執行委員長はじめ66名）の出席のもとで引き渡し式を完了しました。CSAの財政状況からして、残念ながら自前での学校建設には一定の期間を要すると言わざるを得ません。従って、当面は既設校の補修を優先しながら、新規建設の準備資金を蓄える努力を継続したいと考えています。

第3点目は、サンティパーブ高校生寮の支援についてです。建設し提供を開始してから12年目を迎えたサンティパーブ高校生寮は、1学年30名・計90名の遠隔地出身の入寮生とその家族にとって、欠く事のできない存在となっています。今日まで実施してきた日常生活への支援に加えて、経年による設備の劣化への対応が求められています。具体的には、トイレをはじめとする水回り設備の不具合が当面の課題であり、現在は寮から離れた校舎の設備を使用している状態です。生活に欠かせない設備だけに、出来るだけ早くその対策を講じたいと考えています。

第4点目は建設連合からの寄付金の受領についてです。ご案内の通り、建設連合は去る9月3日に発展的に解散し、翌4日に基幹労連と統合、新たな活動を進めることとなりました。9月3日に行われた「解散レセプション」の席上で、CSAに対して100万円の寄付金の贈呈があり、私が受領させていただきました。今日までCSAに寄せていただきました、ご協力とご支援に感謝するとともに、この度のご厚志に改めてお礼を申し上げます。さらに、基幹労連の一員として引き続きのご協力・ご支援をお願いするとともに、組織の一層のご発展を祈念いたします。

5点目は事務局長の動静についてです。山岡事務局長は8月の中旬に体調を崩され、一時入院加療中でしたが、現在は退院され、通院しながら自宅で療養中です。復帰まで、今しばらく時間を要すると思われませんが、それまでの間は渡邊副会長の助力を得ながら事務局の活動を進めていきたいと考えています。皆様方には、何かとご迷惑をおかけしますが、事情をご理解いただき、ご協力を宜しくお願いいたします。

「2014年度の事業計画」と、その裏づけとなる「2014年度予算」、そして、本年は2年サイクルでの役員の改選時期にあたるため「役員の選出」について、本日協議していただくこととなります。限られた時間ですが、代議員の皆さんからの忌憚のないご意見により、方針を補強して頂き、アジア連帯委員会が皆さんと一体となって活動を進められることを心からお願いし、挨拶とさせていただきます。

「第31次救援衣類を送る運動」8,826箱集約

2014年10月6日～10日に全国から送られてきた中古衣類は、ダンボール箱8,826箱、40fコンテナ16本、20fコンテナ1本に上りました。ラオス向けは10月15日に東京港を出港し、11月1日にバンコク港に到着、陸路ラオスの保健省衣類倉庫へ輸送されました。タイ向けは、10月24日に東京港を出港し、11月8日にバンコク港に到着し、タイ社会開発福祉省衣類倉庫へ搬入されました。今後は、それぞれの省庁を通して恵まれない人々に配布される予定です。

第31次の取り組みでは、最近の円安の影響や輸送費の値上がりから支援団体や支援者に、従来にも増して中古衣類と輸送募金はセットでのご協力をお願いするとともに、輸送募金

のみのご協力もお願いしました。皆様のご協力に感謝します。ありがとうございました。



タイの倉庫への搬入

参考：「第30次(2013年度)救援衣類を送る運動」の集荷量、輸送費、輸送募金額

集荷量：約193トン(193,620Kg.)、9,681箱、40Fコンテナ16本

輸送費：¥9,005,427(40Fコンテナ16本分)

輸送募金総額：¥5,442,223(募金額/輸送費60.4%)

ラオスでの小学校建設 ～第24番目校を引き渡し～

基幹労連より結成10周年記念事業として寄贈されたヴィエンチャン県フウェン郡ファサン村の小学校は建設を終え、2014年5月21日、引き渡し式が行われました。同式には基幹労連の役員や組合員66名、CSAから会長と事務局長、ラオス教育省、地元代表、小学生ら500名が出席し、盛大に行われました。基幹労連からは文具等、保健省からはCSAの中古衣類が子ども達や村人に手渡され、村から感謝状が基幹労連に渡されました。



テープカット

ラオス、タイへの視察団 CSAワーキング・スタディ・ツアーを派遣

2014年1月18日～25日に8名、2015年1月17日～24日まで9名の視察団がラオス、タイのCSA活動を視察し、実態調査をおこないました。

両視察団とも救援衣類を送る運動のフォローとして両国の担当省庁と意見交換し、衣類を保管している倉庫を訪問、衣類が確実に届き配布されていることを確認しました。

ラオスではCSAが寄贈した小学校や、遠隔地高校生支援を行っているサントィパーブ高校生寮を訪問し、教師との意見交換、生徒との交流を図りました。このほか、2015年スタディ・ツアーは最近建設寄贈された24番目

校と1998年に建設した5番目校を訪問し新旧校舎を比較し改善点をチェックし、高校生寮では寮舎や設備の痛み具合を確認しました。



2015年ワーキング・スタディ・ツアー

募金者名・募金額の報告

期間：2013年11月1日～2014年10月31日

《輸送募金》

《個人名》

| | | | | | | | |
|---------------|------------|-------------------|-----|-----------------|------------|-----------------|-----|
| ※山本和志 | 代子様 | ※大森美貴 | 子枝様 | ※渡邊ひな | 子歩様 | ※田今口敬 | 子忠様 |
| ※菅野由志 | 子子様 | ※中水永福 | 様様 | ※松門齋櫻坂上今阿岡小田石高太 | 子紀様 | ※今佐横尾(JP労組美作支部) | 様様 |
| ※国分林江村橋 | 子男子様 | ※山谷井島藤谷之野笑 | 様様 | ※木松藤井口家枝部本山中村橋 | 子幸様 | ※石藤田岡藤頭田い岡中留原沢 | 様様 |
| ※小堀田高加廣倉吉福西鶴高 | 子美誠子子之昭二悟夫 | ※森山美由正一美夕麻園笑行礼小可貴 | 様様 | ※幸真泰享幸明美拓理佳輝 | 子平惠美喜也佳子揚子 | ※藤真片齊兵秋森池田福前宮 | 様様 |
| | | ※大森美貴 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※中水永福 | 様様 | | | ※石藤田岡藤頭田い岡中留原沢 | 様様 |
| | | ※山谷井島藤谷之野笑 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※森山美由正一美夕麻園笑行礼小可貴 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※大森美貴 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※中水永福 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※山谷井島藤谷之野笑 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※森山美由正一美夕麻園笑行礼小可貴 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※大森美貴 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※中水永福 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※山谷井島藤谷之野笑 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |
| | | ※森山美由正一美夕麻園笑行礼小可貴 | 様様 | | | ※田今口敬 | 様様 |

(団体名)

※三原菱重工労働組
 ※今仙電機労働組
 ※連東電労働組
 ※東東京情報通信建設労働組
 ※U建設連合東亜道路労働組
 ※アサヒビル労働組合
 ※三連合菱自工県連合
 ※東亜道福岡県労働組
 ※Iシンニッタン労働組
 ※連JP労働組東埼紀州支
 ※キアサヒビル労働組
 ※カナルソニックカンセイ労働組
 ※JPA M北産東工
 ※日貨物鉄産労働東
 ※東四国輸送支愛媛分
 ※沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合
 ※JP労働組宮崎みなみ支部ユースネットワーク
 ※日本郵政グループ労働組合南加賀支部
 ※J-オイルミルズ労働組合千葉支部
 ※JP労働組関東郵便輸送支部茨城分会
 ※JP労働組東濃支
 ※北陸電労石川中央分会
 ※JP労働組九州郵便輸送支部鹿児島分会
 ※印JP労働組伊勢志摩支部
 ※日本郵政グループ労働組合東予西支部
 ※豊島区職員労働組合(ネットワーク豊島)
 ※U & Iカンパニ
 ※JP労働組千葉松戸支部
 ※国土交通省職員組合中国地方本部
 ※JP労働組東京国際支部
 ※四国郵便輸送支留萌支
 ※日立ハイテクノロジ一ズ
 ※エヌデーシー労働組
 ※JP労働組熊二
 ※(株)コンボーズ・ユ
 ※国税労働組総連
 ※富士通システムズイースト支
 ※JP労働組備南西支
 ※プロウケイワイビーワイエス労働組
 ※JP労働組神戸東支
 ※大塚鉄工労働組
 ※JP労働組南予支
 ※日放労働組高田(新湊)
 ※ミツリオングルー
 ※クハラオングルー
 ※IHI労働連東京支
 ※日本アンテナ労働組
 ※JANAエアサポートサービス労働組
 ※JP労働組四国郵便輸送支部徳島分会
 ※三八五労働組

団体合計 ¥6,118,484

※JAM日本電子連合労働組
 ※東亜道路兵庫七新トラル心支
 ※JP労働組玉新トラル心支
 ※東亜道路千葉東支
 ※JP労働組広島東支
 ※JP労働組松山支
 ※JP労働組うちよ西日本KC支
 ※日本郵政グループ労働組合大田支
 ※JP労働組中国郵便輸送支
 ※JP労働組河内南支
 ※JP労働組佐伯支
 ※北陸電力労働組合加南分
 ※JP労働組千葉上総支
 ※JP労働組大阪貯金支
 ※日本郵政グループ労働組合東海地方本
 ※JP労働組徳島南支
 ※熊本市役所風連クマ
 ※北陸電労滋賀県分
 ※日本郵政グループ岡山東備
 ※日立アプライアンス組
 ※ノダ労働予支
 ※JP労働組東京地方本
 ※富士通ラーニングメディア本
 ※JP労働組中央本
 ※日産テクノノ労働組津
 ※マツユニオライ茨城支
 ※ジーケーエヌドライブライ
 ※JP労働組広島貯金支
 ※北陸電力古屋貯金支
 ※凸版印刷労働組
 ※日清オイリオグループ一
 ※JP労働組関東郵便
 ※JAMマルヤス機械労働組
 ※JAM四国一般会
 ※JP労働組宮崎県北部支
 ※JP労働組埼玉東支
 ※フードリエグループ労働組
 ※JP労働組芸南支
 ※リケン労働組合柏崎支
 ※中部プラントサービス労働組合碧南支
 ※JP労働組後志支
 ※北陸電力労働組合手取分
 ※日本郵政グループ労働組合岡山支
 ※キリンビール労働組合福岡工場支
 ※JP労働組京都かんぽサービスセンター支
 ※JP労働組筑波連
 ※情報労働組川崎
 ※ナガタコギョウ東支
 ※JP労働組尾張東支
 ※日本郵政グループ労働組合岡山備南支
 ※三菱地所(株)環境・CSR推進
 ※連菱地所(株)茨城
 ※JAM北関東支
 ※JP労働組徳島西支
 ※JP労働組南関東地方本
 ※コセー総合労働組

輸送募金個人・団体合計 ¥6,864,913

《学校建設募金》

〈個人名〉

※山岡みゆき様 ※足立ほうりゅう様 ※有村利範様 ※兵頭梅子様
 ※熊谷由美子様 ※奥寺千恵子様 ※宮内博文様 ※吉井眞之様
 ※高石哲夫様 ※榎原慶子様

個人合計 ¥85,120

〈団体名〉※三八五労働組合様 ※J A M様
 ※交通労連中国地方総支部青年女性員会第51回交流会様 ※北海道中央バス労働組合様
 ※サンデン交通労働組合様 ※全九州産交運輸労働組合様
 ※三菱自工労働組合様 ※三重西濃運輸労働組合様
 ※基幹労働連様 ※交通労連関西地方総支部様
 ※U A ゼンセン山梨県支部様 ※岡山県貨物運送労働組合様

団体合計 ¥713,600

学校建設募金個人・団体合計 ¥798,720

《高校生支援募金》

〈個人名〉

※石橋俊彦様 ※奥寺千恵子様 ※宮内博文様 ※吉井眞之様
 ※高石哲夫様 ※鴨脚久子様 ※兵頭梅子様 ※新岡史浩様
 ※足立ほうりゅう様

個人合計 ¥121,093

〈団体名〉※住友重機械労働組合連合会様 ※U A ゼンセン山梨県支部様
 ※基幹労働連様 ※J A M様

団体合計 ¥405,000

高校生支援募金個人・団体合計 ¥526,093

《その他の募金》

〈団体名〉※建設連合様

団体合計 ¥1,000,000

その他の募金合計 ¥1,000,000

募金総合計 ¥9,189,726

新役員体制のご紹介

| | | |
|--------------|-------|---------------------|
| 会長 | 吉井眞之 | 元連合副会長・元造船重機労連委員長 |
| 副会長 | 山根木晴久 | 連合総合組織局長 |
| 〃 | 渡邊ひな子 | 前事務局長、元連合国際局長 |
| 事務局 局長 | 山岡みゆき | 元教育文化協会ディレクター(連合) |
| 常任理事 | 西村智雄 | 連合総合組織局 連帯活動局長 |
| | 滝澤八千子 | U A ゼンセン 常任中央執行委員 |
| (新任) | 和久井孝昭 | 自治労 国際部長 |
| (新任) | 倉田秀樹 | 電機連合 国際部長 |
| | 大谷直子 | J A M 組織グループ 副グループ長 |
| (新任) | 赤池浩章 | 日教組 国際部長 |
| | 風澤勝一 | 基幹労連 事務局次長 |
| | 安藤京一 | 情報労連 組織局長 |
| | 近藤泰志 | 連合東京 副事務局長 (計9組織) |
| 監事(会計監査)(新任) | 橋本和秀 | U A ゼンセン 副書記長 |
| 〃 | 堀紀子 | 日産労連 リック局サービス部 部長 |
| 顧問 | 大木明石 | 前会長、元連合副会長 |

【お詫び】事務局長の病気休職のためCSAレポートの発行が遅れまして申し訳ありませんでした。



NGO団体

アジア連帯委員会(CSA)

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館14階

TEL. 03(3769)4177 FAX. 03(3769)4178

E-メール info@ngo-csa.jp ホームページwww.ngo-csa.jp